

令和3年度 第1回放課後事業推進委員会

日時：令和3年10月18日(月)10:00～

場所：アクロス福岡 607 会議室

－ 次 第 －

1. 開会

- (1) 委員紹介
- (2) 副委員長の決定
- (3) 傍聴要領について

2. 報告

- (1) わいわい広場等の実施状況について ※別冊資料

3. 議題

- (1) コロナ禍における子どもの状況及びわいわい広場の意義
- (2) わいわい広場の今後について（持続可能な運営を目指して）

4. その他

5. 閉会

わいわい広場等の現状

項目	資料
わいわい広場の実施状況	1
わいわい広場開設状況（令和3年9月現在）	2
わいわい広場統計データ	3
児童の事故・ケガ等のまとめ	4
わいわい広場と留守家庭子ども会との連携	5
研修実施状況	6
わいわい広場の広報・普及啓発	7
派遣型わいわい広場	8

令和3年度第1回放課後事業推進委員会

令和3年10月18日

わいわい広場の実施状況

【令和2年度】

- ・4月～6月 緊急事態宣言期間中（5月末まで）などにより、中止
- ・7月 9月の本格実施に向け、試行的に再開
(利用児童数を減らした分散開催など)
- ・9月 通常開催
- ・1月13日～2月末 緊急事態宣言期間中により、中止

【令和3年度】

- ・5月7日～6月20日 緊急事態宣言期間中により、分散開催（屋内開催中止）
プレイヤーの招聘及び見守りサポーターの参加中止
(人の流れを抑えるため)
- ・6月21日～ 通常開催
- ・8月27日～9月30日 緊急事態宣言期間中かつ爆発的な感染拡大により、中止
- ・10月1日～ 原則、通常開催（状況に応じて分散開催）

主な感染防止対策

スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・体調管理の徹底（自宅で検温。同居の家族を含め、体調不良時の自宅療養、積極的な病院受診） ・マスクの着用（熱中症の危険性がある場合等は除く）
児童	<ul style="list-style-type: none"> ・受付時、終了時に参加児童の体調確認 ・参加前、参加後の手洗いや消毒の徹底 ・工作や宿題をしているときのマスクの着用
遊具等	<ul style="list-style-type: none"> ・密にならないよう分散させる環境づくり（遊び方、受付場所の工夫等） ・遊具の消毒

■わいわい広場 開設状況 (令和3年9月現在)

(資料2)

(開催校：138校)

区	実施校	開設年度	開設回数	雨天時
東 (28校)	香椎浜	15年度	週3回	中止
	箱崎	18年度	週3回	中止
	香椎東	18年度	週3回	体育館
	香陵	22年度	週3回	中止
	千早	23年度	週3回	中止
	千早西	23年度	週3回	中止
	香椎下原	23年度	週3回	中止
	香椎	24年度	週3回	中止
	和白	24年度	週3回	中止
	三苫	24年度	週3回	中止
	松島	25年度	週3回	中止
	香住丘	25年度	週3回	中止
	八田	25年度	週3回	中止
	照葉	26年度	週3回	中止
	若宮	26年度	週3回	中止
	和白東	28年度	週3回	中止
	青葉	28年度	週3回	中止
	名島	29年度	週3回	中止
	西戸崎	29年度	週3回	中止
	奈多	29年度	週3回	中止
	城浜	30年度	週3回	体育館もしくは連絡通路
	多々良	30年度	週3回	体育館もしくは連絡通路
	菅松	30年度	週3回	中止
	馬出	30年度	週3回	中止
	照葉北	31年度	週3回	中止
	舞松原	R1年度	週3回	中止
	美和台	R1年度	週3回	中止
	東箱崎	R2年度	週1回	中止
博多 (18校)	東光	16年度	週3回	中止
	席田	21年度	週3回	体育館
	三筑	22年度	週3回	中止
	板付	23年度	週3回	体育館(火のみ)
	那珂南	23年度	週3回	中止
	春住	23年度	週3回	中止
	東月隈	24年度	週3回	中止
	東吉塚	24年度	週3回	中止
	東住吉	25年度	週3回	中止(PW来校日のみ体育館)
	那珂	26年度	週3回	中止
	板付北	27年度	週3回	中止
	弥生	28年度	週3回	中止
	月隈	29年度	週3回	中止
	堅粕	30年度	週3回	中止
	住吉	30年度	週1回	体育館もしくは遊具広場
	吉塚	30年度	週3回	中止
	千代	R1年度	週3回	ランチルーム
	博多	R1年度	週5回	空き教室等
中央 (11校)	南当仁	15年度	週3回	中止
	草ヶ江	21年度	週3回	中止
	当仁	22年度	週3回	中止
	平尾	23年度	週3回	体育館
	福浜	23年度	週3回	体育館等
	小笹	23年度	週3回	中止
	警固	24年度	週3回	体育館(火のみ)
	高宮	26年度	週2回	中止
	春吉	29年度	週3回	体育館
	赤坂	30年度	週3回	中止
	笹丘	30年度	週3回	中止
南 (25校)	若久	17年度	週3~5回	体育館
	弥永	21年度	週3回	中止
	野多目	21年度	週3回	中止
	弥永西	22年度	週3回	中止
	大楠	23年度	週3回	中止(途中中止のみ体育館)
	老司	23年度	週3回	中止
	長住	24年度	週3回	中止
	柏原	24年度	週3回	中止
	玉川	25年度	週3回	中止
	東若久	25年度	週3回	中止
	西長住	25年度	週3回	体育館・家庭科室・図書室・多目的室
	日佐	25年度	週3回	中止
	宮竹	26年度	週3回	中止
	花畑	26年度	週3回	中止
	東花畑	27年度	週4回	中止
	高木	27年度	週3回	中止
	塩原	27年度	週3回	中止
	長丘	28年度	週3回	中止
	筑紫丘	28年度	週3回	中止
	大池	28年度	週3回	中止
	西花畑	29年度	週3回	体育館・家庭科室・図書室
	鶴田	29年度	週3回	体育館(使用できる日のみ)
	三宅	30年度	週3回	中止
	横手	30年度	週3回	中止
	西高宮	R1年度	週3回	中止

区	実施校	開設年度	開設回数	雨天時
城南 (11校)	鳥飼	16年度	週3回	体育館
	別府	22年度	週3回	中止
	田島	23年度	週3回	中止
	城南	23年度	週3回	体育館(月のみ)
	金山	R3年度	週3回	中止
	堤	23年度	週3回	体育館・低学年学習室・フリールーム・学習ランド
	七隈	24年度	週2回	中止
	長尾	25年度	週2回	中止
	南片江	25年度	週3回	中止
	片江	26年度	週3回	中止
	堤丘	R1年度	週2回	中止
早良 (24校)	百道	15年度	週3回	中止
	有田	18年度	週3回	体育館
	原北	21年度	週3回	中止
	西新	22年度	週3回	中止
	四箇田	23年度	週3回	中止
	原	23年度	週3回	中止
	高取	23年度	週3回	中止
	室見	24年度	週3回	中止
	百道浜	24年度	週3回	中止
	田隈	24年度	週3回	中止
	賀茂	24年度	週3回	中止
	小田部	24年度	週3回	中止
	野芥	25年度	週3回	中止
	原西	25年度	週3回	中止
	有住	26年度	週3回	中止
	大原	26年度	週3回	中止
	飯原	26年度	週3回	中止
	田村	27年度	週3回	中止
	飯倉中央	27年度	週3回	中止
	入部	27年度	週3回	中止
	飯倉	28年度	週3回	中止
	早良	28年度	週3回	体育館(火のみ)
	内野	29年度	週3回	中止
	隘山	R1年度	週2回	体育館(火)、図書室(水)
西 (21校)	金武	16年度	週3回	中止
	愛宕	21年度	週3回	中止
	壱岐南	22年度	週3回	中止
	姪浜	23年度	週3回	中止
	西陵	23年度	週3回	体育館(火のみ)
	姪北	23年度	週3回	中止
	今宿	23年度	週3回	中止
	城原	24年度	週3回	中止
	下山門	24年度	週3回	中止
	福重	24年度	週4回	わいわい事務室
	玄洋	25年度	週3回	中止
	周船寺	26年度	週3回	体育館(金のみのみ)
	石丸	26年度	週3回	体育館(月・金)
	壱岐	27年度	週3回	中止
	内浜	27年度	週3回	中止
	壱岐東	27年度	週3回	中止
	愛宕浜	27年度	週3回	中止
	西都	29年度	週3回	中止
	今津	30年度	週3回	中止
	北崎	R1年度	週3回	空き教室等
	元岡	R1年度	週2回	中止

各社 校数	55校	麻生教育サービス株式会社
	32校	株式会社テクノ・サポート
	22校	特定非営利活動法人ワークスコープ
	7校	特定非営利活動法人そだちの庭
	19校	リープラス株式会社
	1校	株式会社SKT
2校	地域型	

わいわい広場統計データ

	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	増減 (R2年度-R元年度)
実施校区数	105	114	126	136	137	1
新規開設	8	9	12	10	1	△ 9
開催日数	8,383	9,427	10,071	9,011	6,714	△ 2,297
1校平均開催日数	80	83	80	66	49	△ 17
登録児童総数	13,819	15,711	18,338	18,751	16,011	△ 2,740
1校平均登録数	132	138	146	138	117	△ 21
1校平均登録率	22%	23%	24%	23%	20%	△3%
1校平均登録率(低学年)	35%	37%	40%	39%	34%	△5%
延べ参加人数	242,788	279,997	317,590	272,700	239,086	△ 33,614
1回平均参加数	29	30	32	30	36	6
1回平均参加率(全生徒)	5%	5%	5%	5%	6%	1%
補助員登録数	541	631	890	964	1,047	83
1校平均登録数	5	6	7	7	8	1
見守りSP登録数	3,350	3,494	3,435	3,384	2,729	△ 655
登録率	24%	22%	19%	18%	17%	△1%
1校平均登録数	32	31	27	25	20	△ 5

※H30年度より、猛暑時の中止基準を設定

※新型コロナウイルス感染症対策のため下記期間を広場中止とした

- ・R元年度は 2月26日～3月末まで
- ・R2年度は 4月～6月末まで及び1月13日～2月末まで
- ・R3年度は 8月27日～9月末まで

わいわい広場 児童の事故・ケガ等のまとめ(令和2年度)

<全体>

令和2年度、放課後子ども育成課に報告があった児童の事故・ケガ等の件数は114件

○1年生68件、2年生31件、3年生10件、4年生4件、5年生1件

○1学期2件、2学期107件、3学期5件

○発生場所は、校庭112件、体育館1件、下校時1件

<ケガの状況について>

事故発生場所等		件数	【参考】 令和元年度		
固定遊具	滑り台	6	48	21	3
	ブランコ	13			8
	シーソー	7			1
	バスケットゴール	1			0
	鉄棒	8			5
	ジャングルジム	4			0
	のぼり棒	4			2
	タイヤ飛び	2			0
	雲梯	3			2
	運動・ スポーツ系	鬼ごっこ等			11
ドッジボール		12	3		
一輪車		4	6		
野球		2	6		
サッカー		3	3		
テニス		1	4		
ボール遊び		7	7		
バドミントン		0	1		
バスケットボール		1	0		
ホッピング		0	2		
フラフープ		2	0		
その他		ランドセル置き場	3	23	25
	手・足洗い場	1	0		
	砂場	0	1		
	喧嘩	1	2		
	その他	18	22		
合計		114		83	

<ケガの種別について>

傷病名	件数	【参考】 令和元年度
打撲	56	47
創傷	24	13
骨折	19	9
捻挫	10	8
その他	5	6
合計	114	83

- 固定遊具でのケガ：周辺で走って遊んだ際に遊具に衝突する、遊具から落下する等
- 運動・スポーツ系のケガ：転倒する、ボールが当たったり取り損ねたりする、
ジャンプや飛び降りた際の着地に失敗する等
- その他のケガ：投げた石が当たる、歩いていて躓く等

<ケガの箇所について>

部位		件数	【参考】 令和元年度
頭部 66件	頭	28	54
	目, 目のまわり	8	
	顔	8	
	鼻	2	
	顎	7	
	耳	2	
	口	11	
腕部 26件	手指	19	14
	腕	6	
	肩	1	
	手の甲	0	
脚部 14件	脚	14	11
	脚指	0	
胴 2件	胸	3	3
	腹	0	
その他		5	1
合計		114	83

<病院受診について>

	件数	【参考】 令和元年度
1回のみを受診	35	33
通院	45	37
入院	4	0
受診なし	30	13
合計	114	83

<保険加入について>

	件数	【参考】 令和元年度
スポーツ安全保険	71	59
任意保険	32	21
その他	11	3
合計	114	83

<保険手続きについて>

	件数	【参考】 令和元年度
手続きあり	65	57
手続きなし	49	26
合計	114	83

わいわい広場と留守家庭子ども会との連携について

令和2年度の取り組み

- ① わいわい広場が雨等で途中中止となった場合、両事業に登録している児童は、中止後留守家庭子ども会に登会できるようにした。
- ② 学校の臨時休校期間中、留守家庭子ども会への実地研修と位置づけ、わいわい先生が留守家庭子ども会の活動に参加する機会を設けた。

令和2年度 わいわい広場と留守家庭子ども会との連携に関する調査

(令和2年10月実施)

質問	回答		割合	前年度	増減	
わいわい広場登録児童のうち、留守家庭子ども会にも登録している児童数 (W登録児童)			20.5%	20.8%	△ 0.3	
遊び方について	ア	エリアを分けることなく一緒に遊んでよいとしている	21.9%	48.9%	55.6%	△ 6.7
	イ	エリアを分けているが一緒に遊んでよいとしている	3.6%			
	ウ	一緒に遊んでよいとしているが一部一緒に遊べない制限がある	23.4%			
	エ	一緒に遊ばせていない	50.4%	44.4%	6.0	
遊具の共有について	ア	両方の遊具を共有している	10.9%	30.6%	41.2%	△ 10.6
	イ	わいわいの遊具のみ共有している	17.5%			
	ウ	留守家庭子ども会の遊具のみを共有している	2.2%			
	エ	全く共有していない	65.7%	58.8%	6.9	
企画事業への参加について	参加を呼びかけた（呼びかける予定）		51.1%	74.6%	△ 23.5	
	企画事業の内容等に応じて参加を呼びかけた（呼びかける予定）		28.5%	14.2%	14.3	
	参加を呼びかけていない（呼びかけない予定）		17.5%	11.2%	6.3	
連携について	ア	日常的に情報を共有している	78.8%	72.1%	6.7	
	イ	定期的に情報交換や協議の機会を設けている	19.0%	20.6%	△ 1.6	
	ウ	双方で遊びのルールを共有している	36.5%	39.0%	△ 2.5	
	エ	双方でスケジュールを共有している	21.2%	16.2%	5.1	
	オ	わいわい広場などのお便りを留守家庭子ども会に渡している	78.1%	75.7%	2.4	
	カ	わいわい先生が留守家庭子ども会の運営委員会に参加している	11.7%	10.3%	1.4	
	キ	わいわい先生が留守家庭子ども会の補助支援員として従事している	27.7%	16.9%	10.8	
	ク	補助員が留守家庭子ども会の補助支援員として従事している	21.2%	14.7%	6.5	
	ケ	避難訓練を一緒に実施している	6.6%	7.4%	△ 0.8	
	コ	その他	9.5%	10.3%	△ 0.8	

令和2年度研修実施状況

研修名	実施日	参加者数	内容
わいわい先生研修	R2. 8. 25	117	○「試行期間の取り組み内容の共有・意見交換」 「遊びについての意見交換」 「9月以降の広場の運営について」
	R2. 7～ R3. 3	114	○他校わいわい広場への実地研修（希望者のみ）
	R3. 2. 9 R3. 2. 16 R3. 2. 18	100 (うちWeb 参加19)	○「現在の遊び場の状況の共有と意見交換等」
留守家庭子ども会 への実地研修	R2. 5. 7～ R2. 5. 31	45	○留守家庭子ども会への実地研修（希望者のみ）
補助員研修	R2. 7～R3. 3	11	○他校わいわい広場への実地研修（希望者のみ）
PW (プレイヤー) 研修	R2. 8. 20 8. 24	42	○継続登録者研修 「わいわい広場の現状等について」 「PWの活動について」
	R2. 8～ R3. 3	4	○登録希望者に対する個別研修 「わいわい広場事業説明」 「わいわい広場の現状等について」 「わいわい広場でのPWの関わりについて」 ※登録希望があった時に随時実施
	R3. 1. 21 R3. 2. 15	15 (うちWeb 参加5)	○プレイヤーフォローアップ研修 PW、学生PW育成講座、プレイワーク研修講座の 受講者等がそれぞれの活動を共有し、遊びの 支援者としての意識を高め、その活性化を 図る研修
<p>■プレイワーク研修講座 日時：R2. 6. 21、6. 28(AM/PM)、7. 1(AM/PM) 内容：子どもの育ちに欠かせない遊びへの大人の関わりについて、理解を深め支えていく ために、基礎知識や技術を学べる講座 参加者：延べ81人</p>			

令和3年度研修実施状況

研修名	実施日	参加者数	内容
わいわい先生研修	R3. 4. 12	20	○新任わいわい先生 「わいわい広場の概要」 「わいわい広場の意義と遊びの効用」 「遊び場におけるリスクマネジメント」
	未定	-	○他校わいわい広場への実地研修（希望者のみ）
	未定	-	○人数を分割し、グループワークを想定
業務遂行責任者研修	R3. 4. 26	21	○業務遂行責任者及び現場担当者の研修 「わいわい広場における対応などのシミュレーションワーク」
	R4. 1 (予定)	-	○業務遂行責任者及び現場担当者の研修 「わいわい広場における対応の振り返り」
補助員研修	未定		○他校わいわい広場への実地研修（希望者のみ）
PW (プレイワーカー) 研修	R3. 4. 10 R3. 4. 16 R3. 5. 10	51	○登録研修会 「わいわい広場及びPWの活動について」 「子どもにとっての遊びについて」 「わいわい広場でのPWの関わりについて」
	R3. 5～ R4. 3 (予定)	-	○登録希望者に対する個別研修 「わいわい広場及びPWの活動について」 「子どもにとっての遊びについて」 「わいわい広場でのPWの関わりについて」 ※登録希望があった時に随時実施
	R3. 5. 6 R3. 5. 17	Web開催 100	○専門学校生に対する説明会 「わいわい広場及びPWの活動について」 「子どもにとっての遊びについて」 「わいわい広場でのPWの関わりについて」
	未定	-	○プレイワーカーフォローアップ研修 PW、学生PW育成講座、プレイワーク研修講座の受講者等がそれぞれの活動を共有し、遊びの支援者としての意識を高め、その活性化を図る研修
<p>■プレイワーク研修講座 日時：R3. 10. 10、17、24 内容：子どもの育ちに欠かせない遊びへの大人の関わりについて、理解を深め支えていくために、基礎知識や技術を学べる講座 参加者（予定）：各30人</p>			

わいわい広場の広報・普及啓発

■広報・普及啓発

わいわい広場や、遊びの大切さ・遊びの効用について、学校・地域関係者・保護者等の理解を深めるために、「新1年生保護者説明会への参加」や「登録外児童を対象としたわいわい広場の開催」、「わいわい便りの発行」、「学校やPTA、地域の広報誌への掲載」など、各実施校で工夫して様々な広報・普及啓発活動を行っている。

■休日わいわい広場

令和元年度より、年に1回、休日（土・日・祝日）に、未登録の児童や未就学の児童も参加できる「休日わいわい広場」を実施している。

① 目的

平日は広場に来ることが難しい保護者や地域関係者等に、「わいわい広場」、「遊びの大切さや遊びの効用」について、理解を深めてもらう。

② 対象者

当該小学校区に居住する児童（登録外児童を含む）、乳幼児（保護者同伴）など

③ 内容

通常のわいわい広場の実施（プレイワーカー派遣や地域行事との連携もあり）

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

令和3年度は、感染防止対策を徹底したうえで実施予定。

■情報配信

令和2年度より、広場の中止など、児童の安全に関わる情報をメール等により配信。

今後、学校のペーパーレス化にも合わせ、配信内容の対象を広げ、わいわい便りなどのメール配信を検討していく。

派遣型わいわい広場の実施について

わいわい広場は、全校区展開を目指して実施している。

わいわい広場未実施校区については、令和元年度より、「派遣型わいわい広場」として、年に1～2回単発でわいわい広場を実施し、子どもたちに遊びの効用が享受できるよう取り組んでいる。

【未実施校区】舞鶴小学校、勝馬小学校、志賀島小学校、能古小学校、玄界小学校、小呂小学校

派遣型わいわい広場の実施概要

目的	わいわい広場未実施校区で、派遣型わいわい広場での体験を通して遊びの引き出しを増やし、日ごろの遊びにつなげ、主体性やコミュニケーション力、体力、創造性の向上など、児童の健全育成を図る。
実施頻度	年に1～2回程度
場所	校庭、体育館等
スタッフ	遊びを支援できる学生等、地域の方 など
遊び	自由遊び

令和3年度実施予定

志賀島小学校10/19・11/18、舞鶴小学校11/9、能古小学校11/17・12/7、 その他調整中

令和2年度取り組み状況

学校名	日時	場所	参加児童 (延べ)	実施状況（平日の放課後に2時間程度実施）
能古小学校	10月20日 11月10日	体育館 校庭	153名	<ul style="list-style-type: none"> 前半はそれぞれ様々な遊びをしていた子どもたちが、後半は男女・学年問わず皆でドッチボールをしていた。 学生プレイヤーカーや補助員さんの全力鬼ごっこが人気。 前回同様、大人に頼らずとも多学年で元気に遊ぶ児童が多数。
志賀島小学校	3月10日	校庭	9名	<ul style="list-style-type: none"> 針金と色セロファンを使った眼鏡や、ミサンガ作りなど学生プレイヤーカーに教わりながら、みんなで夢中で作っていた。 途中からシャボン玉作りや巨大オセロ、鬼ごっこ・氷鬼、リレーなど、次々と遊びが変化していった。 校長先生を始め、学校の先生方も遊びに参加してくださり、非常に盛り上がった広場になった。 終了時間になると、「もう終わり?」「次はオセロで勝負しようね」など名残惜しそうに声をかけてくれた。



【能古小学校】



【志賀島小学校】